

2026年(令和8年) 8月1日 土曜日

南 信 州 新 聞

もてぎ大会2部門で優勝

材料制限の部は2度目で栄冠

飯田OIDE長姫高校原動機部が、7月25日に栃木県茂木町の「モビリティリゾートもてぎ」(3・6キロ)で開催された「2026 Ene-1 MOTEGI GP」に出場し、電気自動車競技の高校生部門を連覇、マシンの製作材料に制限のあるカテゴリーで初の総合優勝を果たした。

**OIDE長姫高
原動機部**

充電式単3乾電池40本を動力源とする車両を操り、3回のタイムアタックの合計タイムで順位を競う全国大会。今年は各部門に計33台が出場した。

同校の原動機部は、一般7、大学高専5、高校9、中学1の計22台がエントリーした製作材料制限なしのカテゴリーに2台を持ち込み、高校部門優勝(総合3位)と高校部門4位(同6位)の成績を挙げた。優勝マシンのドライバーを務めた2年の仲田晴哉さん(17)は「連覇できた達成感がある。表彰台の真ん中に立ててうれしかった」と振り返った。

製作材料にカーボンを禁止とするカテゴリー(一般5、大学高専5、高校17、中学3の計31台)には木製のマシンで臨み、2度目の挑戦で栄冠を手にした。

同大会で初めてドライバーを務めた2年の東海宗佑さん(16)は「仲間から『完走を目標に楽しんで走ってきて』と送り出されたが、終わってみれば3走すべてで安定した走行を披露し、総合優勝し

た。自ら手掛けてきたマシンだったこともあり、優勝の喜びはひとしおで「先生とコースを確認しながら作戦を立てた。描いた通りに走ることができた」と笑顔

で振り返った。

この大会を最後に3年生は引退する。熊谷漣太郎長(18)は「良い形で引き継げることはうれしい。次の大阪での大会は1、2年だけで臨むが、引き継ぎ後は何かとかみ合わないこともあると思う。連携し協力し合いながら良い成績を挙げてほしい」と後輩にエールを送った。

今後は11月22日に大阪府岸和田市で開かれる「エコデンレース全国大会」に向けて調整していく。



もてぎGPで好成績を取った飯田OIDE長姫高の原動機部

2026 Ene-1 MOTEGI GP
原動機部 2部門で優勝